

## 2025年度 第3回鋼材規格三者委員会 議事録

1. 日 時： 2025年12月17日（水）14:00～17:05

2. 場 所： ハイブリッド会議（対面：鉄鋼会館801室+Web: Teams）

3. 出席者：（敬称略）

委員長：榎（東京工科大学）

副委員長：緒形（物質・材料研究機構）、田中（東京理科大学）、藤原（EMF応用計測）

委 員：相川\*（日本水道協会）、荒井（日本製鉄）、池田（神戸製鋼所）、沖\*（建築研究所）、木下（日本規格協会）、栗原（日本伸銅協会）、近藤\*（日産自動車）、塩田\*（IHI）、鈴木\*（日本鋼構造協会）、高橋\*（日本アルミニウム協会）、辻村\*（日本金属継手協会）、中澤（JFEスチール）、中山\*（日本海事協会）、蓮井\*（日鉄SGワイヤ）、林（元理化学研究所）、藤井\*（日本試験機工業会）、藤田（北海道大学）、古市（日本検査キューエイ）、八木\*（大同特殊鋼）、山田\*（東京大学）

（委員長・副委員長・委員計24名、\*Web参加）

欠 席：金岡（住友電工ハードメタル）、桑原（東京農工大学）、種物谷（高圧ガス保安協会）、千葉（関西学院大学）、富山（土木研究所）、判治（名古屋大学）

幹 事：松本（鉄鋼連盟） （幹事1名）

関係者：菊田（経済産業省）、坂本\*（国土交通省） （関係者計2名）

事務局：越川・井田・齊藤・玉田・田谷・山本（鉄鋼連盟） （事務局計6名）

### 4. 議題及び配布資料

#### 1) 報告事項

資料1-1：2025年度 第3回鋼材規格三者委員会名簿

資料1-2：2025年度 第1回鋼材規格三者委員会議事録

資料1-3：2025年度 第2回鋼材規格三者委員会議事録（事前調査表・定期見直し票の書面審議）

資料16-1,16-2：ISO/TC17活動報告

#### 2) JIS規格審議

＜改正＞

資料2：JIS A 5528 熱間圧延鋼矢板

資料3：JIS G 4110 高温圧力容器用高強度クロムモリブデン鋼  
及びクロムモリブデンバナジウム鋼鋼板

資料4：JIS G 3119 ボイラ及び圧力容器用マンガンモリブデン鋼  
及びマンガンモリブデンニッケル鋼鋼板

資料5：JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管

資料6：JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼鋼管

資料7：JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材

資料8：JIS G 4052 焼入性を保証した構造用鋼鋼材（H鋼）

資料9：JIS G 4053 機械構造用合金鋼鋼材

資料10：JIS G 4802 ばね用冷間圧延鋼帶

資料 11 : JIS G 1223 鉄及び鋼－チタン定量方法－吸光光度法

<制定>

資料 12 : JIS G 1220-1 鉄及び鋼－タングステン定量方法

－第 1 部 : シンコニン沈殿分離酸化タングステン (VI) 重量法

資料 13 : JIS G 1220-2 鉄及び鋼－タングステン定量方法－第 2 部 : チオシアン酸塩吸光光度法

<廃止>

資料 14 : JIS G 1220 鉄及び鋼－タングステン定量方法

3) JIS 正誤表審議

資料 15 : JIS G 1212-1 鉄及び鋼－けい素定量方法－第 1 部 : 二酸化けい素重量法

## 5. 議事内容及び結果

委員交代の紹介、議題・資料の確認及び榎委員長のご挨拶の後、以下の議事が進められた。

**5.1** 幹事から、委員会名簿及び 2025 年度第 1 回鋼材規格三者委員会の議事録が報告された。第 1 回の議事録は、会議後に既に承認されており、特にコメントはなかった。また、2025 年度第 2 回鋼材規格三者委員会として、2026 年度案件の事前調査表（制定 9 件、改正 23 件、廃止 3 件）及び令和 7 年度 JIS の定期見直し調査票についての書面審議が行われ、承認されたことが、議事録で報告された。承認された結果は、意見受付の実施の結果、本議決結果に変更が生じない場合には、再審議しない方針が確認された。

**5.2** JIS 規格審議案件の改正 10 件、制定 2 件及び廃止 1 件について、事務局から内容が説明され、主に以下の質疑応答があった。

- 1) 栗原委員から、資料 10 (JIS G 4802) に関し、“表 1 の適用厚さに単位が必要ではないか。”とのコメントがあった。担当主査から、単位がミリメートルであることを追記することが回答され、承認された。
- 2) 田中副委員長から、資料 11 (JIS G 1223) に関し、“補償溶液に関する操作は、見直し必要ではないか。”とのコメントがあった。担当主査から、2025 年に改訂された対応国際規格どおりの操作であり、F02.03 鉄鋼分析分科会でも反対意見がなかったことが回答されたが、今後の検討課題とした。また、補足資料中の誤記訂正 (JIS G 1237→JIS G 1223) の説明があった。

上記の他、改正・制定 JIS 案は、規格ごとのコメントシートに記載されたとおり、修正することとし、改正 10 件、制定 2 件及び廃止 1 件は、いずれも承認された。

**5.3** 資料 15 (JIS G 1212-1:2023 の正誤表) について、担当主査から内容が説明された。菊田氏から、対照表の作成要否の判断基準について質問があり、担当主査から、分析操作で他箇条を引用する場合に作成することが説明された。また、榎委員長から、誤記の発見経緯について質問があり、鉄鋼分析会社で JIS 改正内容を作業標準に反映する際に発見したことが説明された。審議の結果、資料 15 は、承認された。

**5.4** 事務局から、ISO/TC 17 (鋼) の活動状況について報告があった。

**5.5** 幹事から、2026 年度第 1 回鋼材規格三者委員会は、2026 年 7 月 30 日 (木) 午後に、ハイブリッド会議として開催予定であること報告された。

以上